



スライド会に参加して

— 会長就任によせて —

会長 金城 典子

立春が過ぎてから大雪の降る日もあり、厳しい冬でした。思わず早春賦の歌を口ずさむこともありましたが、梅の香と陽だまりの温かさに春の訪れを感じるこの頃です。

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年、初めての行事としてスライド会が1月5日、千葉県立中央博物館の講堂でありました。大勢の人々がホール前に集まっていますので、他にも何か催し物があるものと思っていました。始まる時刻になると、ホールにいた人達はスライド会の会場に向うのです。

まず、浅井ご夫婦がそれぞれに今年のキノコ観察の報告が行われ、会場からは気軽に質問がされて好感が持てました。発表者達は採集した標本のマクロ的な観察に加えて試薬を使い顕微鏡の観察と検討結果が報告され、以前の発表とは様変わりをしていると思いました。また千葉市美浜区にお住まいの中田さん親子の発表は小さい子供達とともにきのこの観察を通して親子関係が築かれています。お子さん達の手作りのしおりは私の本で活用させてもらっていますが、素晴らしい親子に会えたことを思い出しています。一方、近田さんと一心に演奏する子供達の生のハンドベルの美しい音色には感激しました。気がつくとも目から涙が出ていました。とても心に響く、素晴らしい演奏でした。

研修室ではキノコグッズをはじめ、いろい

ろと展示物があり楽しいコーナーです。山歩きに使いたいと、松田さんよりアカザの杖を2本譲られました。私はヤマヒルの多い清澄山で使っていたかと思いきや、ヤマヒル防止用の靴下を提供しましたが、使われた方から様子をうかがい、また改良して靴下を作ろうと思いますのでよろしくお願い致します。

帰りにはとても美味しい手作りのキャラメルをお土産にいただきました。

とにかく熱の入った報告会はこれからの観察会に活かされていくことと思われ、千葉菌類談話会の拡がりを感じました。

故本郷先生は「千葉菌類談話会にくるのは懇親会が楽しみだからですよ。」とよく笑いながら云われていましたことを思い出します。今回も会員の伊豆さんのところで美味しい料理とお酒を頂きながら、菊地栄子さんの欠席が寂しく思いながら、浅井さん、佐野さん、後藤さん、大作さん・・・みなさんと、きのこを肴にした話題で大変に盛り上がりました。その時、名札をつけるように提案されましたので、私は翌日には100枚用意しました。今度持参します。何ととっても吹春ご夫妻と吉田ご夫妻の何気ない心使いは本会の礎となっていると思えました。相変わらずですが、どうぞよろしくお願い致します。

皆様におかれましてはくれぐれも健康に気をつけられ、益々の活躍を祈念いたしつつ、会長就任のご挨拶とさせていただきます。